

財団法人 有機合成化学研究所
産学共同学習セミナー
「新物質・新材料研究会」

平成16年度プログラム

1. 平成16年4月15日(木)午後5時 京大会館

「化学ハサミとしての遷移金属錯体」

京都大学大学院工学研究科 教授 村上 正浩

これまで有機合成化学者の眼は炭素-炭素結合生成の方向に向いていた。しかし発想を逆転させて、炭素-炭素結合を切断して反応を前に進めるというアプローチにも、これまでにない面白い展開を期待できる。

2. 平成16年7月15日(木)午後5時 京大会館

「マイクロリアクターを用いる物質生産」

京都大学大学院工学研究科 教授 吉田 潤一

マイクロ構造内で化学反応を行うマイクロリアクターが注目されている。本講演ではマイクロリアクターを用いた高選択的反応について最新の成果を紹介するとともに、工業的物質生産への可能性について述べる。

3. 平成16年10月14日(木)午後5時 京大会館

「当社における反応性オリゴマー事業の開拓と新展開」

鐘淵化学工業株式会社 諫山 克彦

当社は20数年前より反応性オリゴマー事業を展開している。各種リビング重合(カチオン、ラジカル他)を活用して合成される、両末端に各種官能基(シリル基他)を有する新規テレケリックオリゴマーであり、その応用や開発上のポイントにつき概説する。

4. 平成17年1月20日(木)午後5時 京大会館

「SAC-CI on Gaussian を用いた研究展開」

—精密分子分光学から分子生物学まで—

京都大学大学院工学研究科 教授 中辻 博

私たちの研究室で開発してきた SAC-CI 法が Gaussian に登録されている。これを使ってどんなことが出来るのか、簡単に紹介したい。